

令和3年度 弥兵衛平種子採取作業 活動報告

8月7日（土）にネイチャーフロント米沢主催の弥兵衛平種子採取作業に、置賜森林管理署職員5名と森林保護員1名、ネイチャーフロント米沢の会員5名の計11名が参加しました。吾妻山周辺森林生態系保護地域内にある弥兵衛平湿原は、登山者の入り込み等の要因により一部が裸地化するなど荒廃した箇所があり、裸地化した箇所に吾妻山系の湿原、湿性土壌に生育している植物の種子を採取したものを播種し、植生や景観の回復を図ることを目的としています、

<弥兵衛平湿原植生回復事業の活動の経過及び令和3年度の予定>

弥兵衛平湿原植生回復事業は、山形県が平成12年度から15年度にわたり、環境省の補助事業として実施した「西吾妻―一切経山縦走道路（歩道）事業の整備に係る植生復元工事」として始まり、その後、ネイチャーフロント米沢が引き継ぎ、特に弥兵衛平湿原東端部の植生回復事業が取組まれてきました。

この事業では、弥兵衛平湿原東端部や中央部において播種、緑化ネット及びムシロによるマルチング（被覆）作業、植生回復状況のモニタリング、マルチングの維持補修、凍上防止用コモの被覆及び撤去などの保全作業が継続して行われてきました。

これまでの取組みで一連の作業が終了したことから今年度からは、今まで実施した箇所で小規模かつ部分的に裸地化している箇所の作業をアフターケア的に実施する予定です。

<実施状況>

当日は天元台ロープウェー湯本駅に集合し、ロープウェーからリフトに乗継ぎ、1時間程度登山道を歩き、種子採取場所に到着しました。種子採取場所は吾妻山の人形石から東大巔に至る稜線上の歩道から約50m以内の箇所です。

湯本駅では晴れていましたが、登山道に入ると時折濃霧に巻かれたり、にわか雨に見舞われたりと山の変わりやすい天候の中での作業となりました。



天元台ロープウェー湯本駅に集合する参加者

種子採取では、主にミタケスゲとヌマガヤの種子を採取しました。ヌマガヤの種子は種子を実らせていないものが多かった印象があり、ネイチャーフロント米沢の会員の方の話によれば、年々採取できる種子の量が減少しており、気候的問題や採取時期、会員の高齢化による採取作業参加者の減少が関係しているそうです。



種子採取作業を行う参加者

計11名の参加者は約2時間の作業で各々袋いっぱいに種子を採取していました。今後、採取された種子は弥兵衛平湿原回復予定箇所に播種され、その後芽生えた植物を保護するためにコモあるいは緑化ネット2層敷きによるマルチング（被覆）が行われる予定です。

今後も、置賜森林管理署ではネイチャーフロント米沢の皆様と協力しながら吾妻山の植生回復事業に取り組んで参ります。

東北森林管理局
置賜森林管理署